

4. とちぎの山からどのくらい丸太（素材）が生産されていますか？

統計書44、46ページ

素材の年間生産量は約46万m³です。

素材とは、山に立っている木を伐採して運び出した、樹皮などがついたままの丸太のことです。素材の年間生産量は全国で12番目となっています。

競泳用の50mプールでたとえると、**約180杯分**です。
(50m×幅2.5m×深さ2mとして)
栃木県の素材は、**約9割**が製材工場で柱や梁（はり）などに加工されています。



ぐちもりく



山から運び出される丸太（矢板市）



木材共販所（矢板市）

5. 建物に使われる木材はどのくらい生産されていますか？

統計書47ページ

建築用材の年間出荷量は約26万m³です。

主にスギやヒノキなどの針葉樹林から、家を建てるための柱や梁（はり）などが生産されています。



製材工場（那須塩原市）

木造住宅



ぐちもりく

1年間に**木造住宅約1万1千戸**分の建築用材を出荷しています。

(木造住宅1戸24m³として)
※出典：平成23年版森林・林業白書

6. きのこと山菜等はどのようなものが生産されていますか？

統計書9、49ページ

しいたけ、なめこ、ひらたけなどで、年間生産量は生しいたけで約2,200トン（全国7位）です。

きのこをはじめとする本県の特産林産物は、福島第一原子力発電所事故の影響を受け、主要作物である原木栽培しいたけなどにおいて出荷制限措置がとられ、生産量が大きく減少しています。

しかし、安全な栽培方法の研究・普及など放射性物質対策を進めてきた結果、出荷制限の一部が解除されてきており、対策の効果が着実に表れてきています。



菌床栽培しいたけ



原木栽培しいたけ



原木栽培しいたけのほだ木（芳賀町）